

平成28年8月9日

株式会社みまもーら

プレスリリース

報道関係者各位

全国初の遺失物発見システムを転用した 高齢者見守り実証実験を開催

株式会社みまもーら(東京都港区 代表取締役：河合 斎行：以下みまもーら)は愛知県豊橋市羽根井校区自治会(天野 明彦自治会長)の協力のもと、MAMORIO 社の遺失物発見システムとして商用稼働中の位置情報プラットフォームである MAMORIO を転用した、全国初の高齢者見守り実証実験を豊橋市羽根井校区内において平成28年7月13日(水)・14日(木)に実施いたしました。

■実証実験の背景

2025年には人口の4人に1人が65歳以上になると言われる超高齢者社会に向かうことが確実な日本において近年、高齢者が起因する事故が急増し問題になり、親世代と子世代の同居率も40%切りを目前に控え、核家族化が本格的に進行しており、高齢者の見守り環境の整備が課題になると考えられています。

そこでこれら問題を解決する手段として株式会社みまもーらはMAMORIO社の開発した世界最小の紛失防止IoTタグを採用し、従来では困難であった端末所持者(今回は高齢者)の位置を特定・把握することに成功いたしました。

そして今回、豊橋駅西地区において有数の住宅街ではあるが、世帯数における高齢者比率が比較的高く地域高齢者見守りの啓発を目的に愛知県豊橋市羽根井校区自治会の協力を得て、平成28年7月に全国初の高齢者見守り実証実験を行うことに至りました。

実験概要

日時 平成28年7月13日(水)・14日(木)

時間 午前10時より午後5時まで

実施場所 羽根井校区(立花町・羽根井本町・白河町・八通町の一部)

参加人数 18名(67歳から88歳まで、男性10名・女性8名)

■みまもーらの特長

1.世界最小である BLE タグを採用

省電力規格である BLE 技術(ブルートゥース)タグを採用した情報発信端末を採用。省電力ため約 1 年間の電池交換が不要になる。

またサイズも縦 35.5mm、横 19mm、高さ 3.4mm のため持ち運びに便利である。

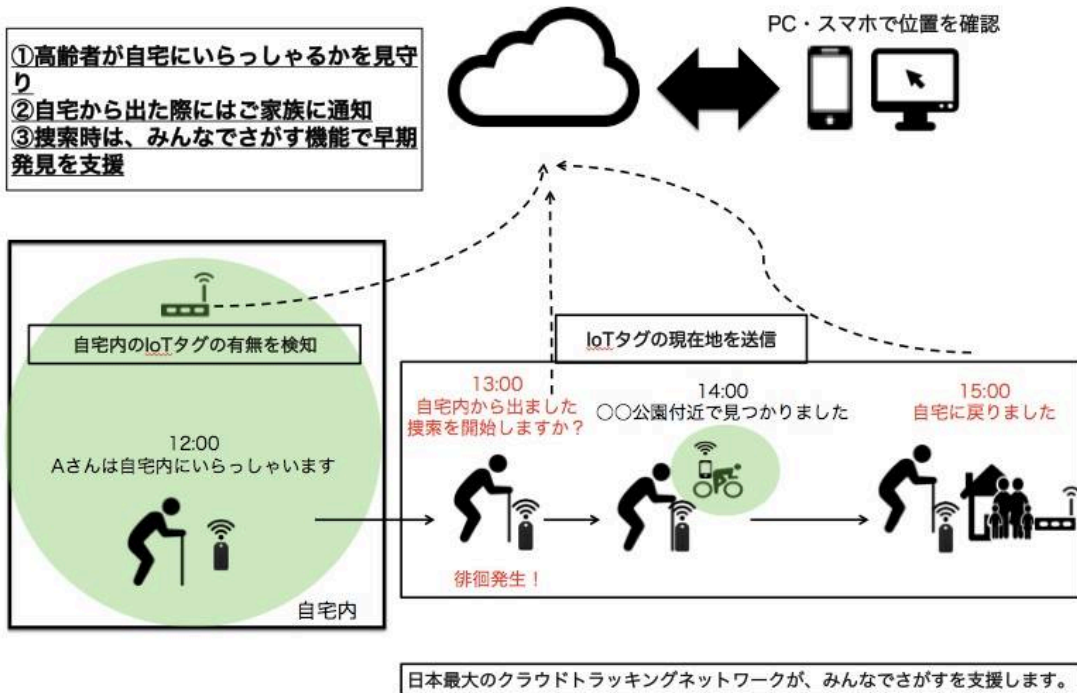


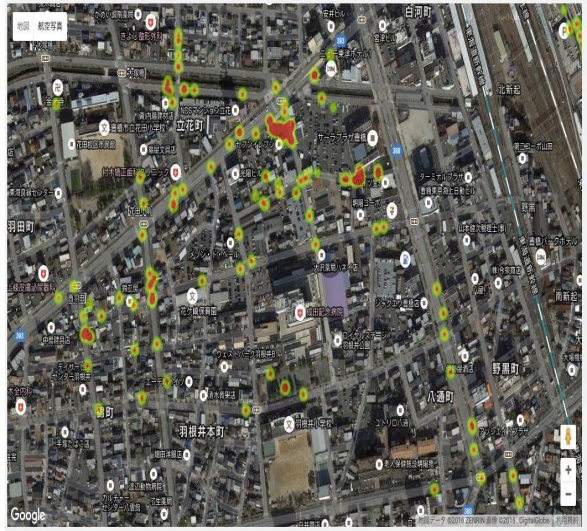
2.すれ違い通信(クラウドトラッキング)の採用

MAMORIO 社の特許であるすれ違い通信(クラウドトラッキング)を利用し、通知 ON の状態で、すれ違った際にその位置を発信する。

また簡単な操作にて端末所持者の検索願いを発信・共有ができ、反応があった場合、その位置を送信し確保の手がかりとすることができる。

IoTタグを利用した在宅見守りイメージ





会社概要・お問い合わせ先

会社名：株式会社みまもーら

代表：代表取締役社長 河合齋行

本社：東京都港区南青山2丁目2番15号 ウィン青山942

TEL： 03-6403-3080

FAX：03-6893-3931

ホームページ：www.mimamora.com

お問い合わせ先：info@mimamora.com 090-6360-1725(担当 河合)

協力

MAMORIO 株式会社(東京都千代田区)